

羅針盤 vol.98

校長 白岩博明

12月20日(土)、アクティブサタデーとなったこの日は、中学校が「探究 Day」、高校が「クラスマッチ」を行いました。中学校の「探究 Day」は、日頃の探究の時間に取り組んでいることの発表会となりました。中学1年生は初めての発表ですが、質の高い3年生の発表を見て、かなり刺激を受けたということでした。高校の「クラスマッチ」の種目はバレーボール。3学年がグループに分かれて予選リーグを行い、その後の決勝トーナメントへ。本文中にもあるように、選手も応援生徒も頑張っていました。

12月22日(月)は2学期終業式。第1体育館に高校1、2年生が集いました(中学校、高校3年生はクラスへzoom配信)。設置したエアコンを初めて使用し、快適な状態で式を実施できました。下記は終業式での講話内容です。



(高校クラスマッチ、優勝チーム応援団の先生と生徒)

「責任ある自由」をめざして

今年は被爆(戦後)80年、昭和100年、修道学園創始300周年という記念すべき節目の一年でした。振り返ると、この一年、学校としても、私自身としてもいくつか乗り越えるべきことがありましたが、概ね無事に過ごせたことに対し、生徒のみなさん、保護者のみなさま、教職員のみなさんに感謝申し上げます。

一昨日の高校生クラスマッチ、中学生は探究Day、お疲れ様でした。とくに、クラスマッチの決勝戦、2年1学級対3年5学級の試合は見応えがありました。今年最後の行事を締めくくるに相応しいものでした。協創のパワーを感じ、思わず眼頭が熱くなりました。

さて、本校では、教師中心の授業から生徒中心の授業へと変えなくてはならないという世の中の動きの中で、授業改善に取り組んでいます。2学期は「R80」という、リフレクション、授業の振り返りを80字で行うという取り組みをほとんどの教科で実施しました。そこで、私も学校の一年について「R80」で振り返ってみます。

「行事や部活動などのさまざまな活動を通じて、これまで以上に生徒の前向きな姿を見ることができました。しかし、『だから、協創からはじめよう』というカタチをもっと具現化できたらよかったです。」としてみました。

この振り返り「R80」の理由ですが、体育祭や文化祭、研修旅行などの行事が生徒主体のものに近づきつつあること、たくさんの部活動で生徒のみなさんが躍動していること、オープンスクールでのボランティアスタッフ、校外における各種コンクールでの表彰、地域との連携活動など意欲に満ちた生徒が確実に増えているからです。また、来校される方々からの生徒のみなさんの挨拶、笑顔、振る舞いへの評価をいただいたり、直接間接にたくさんの方から「協創生、すごいですね」とお褒めの言葉をいただいたりするのもそ

の理由です。

しかし、「だから、協創からはじめよう。」という、他者と協働し、様々な価値を見出すということにおいては、今少し物足りなさを感じています。生徒のみなさんのポテンシャル、潜在する力をもっと発揮してみましょう。そして、残念なこともあるのも事実です。

9月16日の臨時の全校朝礼で、「ルールを守ることの意味」について話さざるを得なくなったことを思い出してください。みなさんには2つのことを伝えましたね。1つは、「自分をコントロールすることが、確かな成長につながる」ということでした。2つ目は「自分さえよければ良いという、独りよがりはやめよう」ということでした。

つまり、みなさんのほとんどは前向きで、協力的で、良き方向に変わる・変わろうとするチェンジメーカーを目指そうとしています。残念ですが、一部の人が意識できていないということなのです。服装の乱れや遅刻、トイレの使い方、トイレでのガムの吐き捨てなどなどにその姿が見られます。器物破損など言語道断で絶対に許すことはできません。

私は、この学校において、やがて「責任ある自由」が確立できるようになれば素晴らしいと願っています。しかし、その道はまだまだ遠いと感じます。一部の生徒だけではなく、すべての生徒の意識の高まりが必要になります。そして、みんなの自立とやがて自走に向けて、我々先生たちのみなさんとの伴走する力をもっと高めていきたいからです。

最後になりました。この一年、本当にありがとうございました。改めて感謝いたします。

「來たる3学期が今年度のまとめ、新年度0学期の準備のとき」となります。「だから、協創からはじめよう。」で来年をスタートさせ、お互いに良き年を迎えましょう。